

◇ 第13回美しい石川を歩く ～順徳さん謎解きウォークラリーコース～

誰もが気軽に実践できる日常的な体力づくりのひとつとして「歩くこと」を推進するため、自然や文化を楽しみながら歩く機会を設けています。今回は10月13日（木）「順徳さん謎解きウォークラリーコース」にて歩く会を開催しました。不順な天候続きで心配されましたが、まさかの秋晴れウォーキング日和での実施となりました。

津幡町英田公民館前に集合し、参加者22名と歩こう会のボランティアスタッフと共に、検温、手指消毒、準備運動を万全に行いスタート。先立って公民館の松本館長からコースのテーマになっている「順徳さん」にまつわる津幡での伝説をお話いただきました。

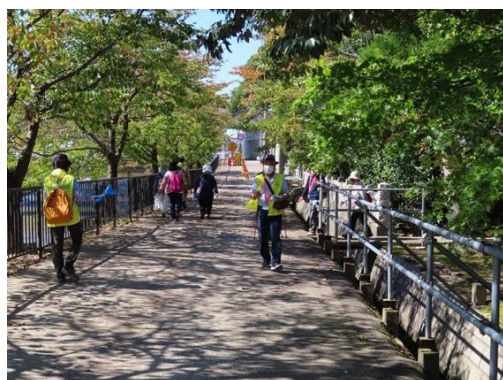
今回は、平坦で距離も短く、ウォーキング初心者にもやさしいコースでした。鎌倉時代の順徳さんのエピソードに思いを馳せ、スタンプポイント毎のクイズ（謎解き）に挑戦している参加者もありました。和気あいあいとした楽しい会話も楽しみながらのゆっくりのウォーキングでも約2時間で、参加者全員が完歩できました。



【グループ毎に元気よくスタート】



【第一スタンプポイント（願慧寺）到着】



【桜並木「春にまた来よう」】



【クイズに挑戦】



【もうすぐゴール。足取り軽く】

「順徳さん」伝説

順徳上皇(1197年～1242年)第84代天皇
鎌倉幕府討幕のため、上皇の立場に退き「承久の乱」を引き起こしたものの敗れ、佐渡へ島流しとなった途中しけに遭い、英田（あがた）地区にたどり着き、この地にあった御門（みかど）に足かけ3年住まわれたという伝説